

2017. 12月議会 一般質問

9番、武井誠です。通告に従い市政一般質問を行います。

1つ目は、学校予算の編成についてです。

市長の「子どもは坂戸の宝であり、教育にはお金をかける」という方針に賛成するものです。しかし一方、限られた枠の中で優先順位をつけ、予算編成を行わなければならない現実もあります。

次の3点について質問をします。

- (1)来年度の学校教育予算の編成方針について
- (2)予算確定までの手続きについて
- (3)予算化をするときの優先順位について

次に小・中学校教員の心身の健康管理について質問します。

小・中学校教職員の長時間労働等による心身の健康被害が心配されています。私も、再三にわたって一般質問等でこれを指摘してきました。やっと文部科学省も昨年6月17日に「学校現場における業務の適正化にむけて」という通知を都道府県教育委員会教育長あてに出し、本市でも勤務時間を把握する取組が始まりました。また、様々なストレスに起因する教職員の心の健康への配慮も必要と考えます。

そこで、次の2点について質問します。

- (1)小・中学校教職員の勤務状況について
- (2)教職員の心身の健康管理の取組について

次に、高齢者の「閉じこもり」対策について質問します。いわゆる「閉じこもり」による高齢者の健康に及ぼす影響が懸念され、全国の自治体においても、様々な対策が試みられています。

そこで、次の2点について質問をします。

- (1)「閉じこもり」の原因と予防について
- (2)本市における状況把握と対策について

以上をお伺いし、1回目の質問といたします。